



おしえて、聞かせて

青森市民病院

医療最前線

青森市民病院情報誌

# ほほえみ

令和五年春・夏号 (Vol. 98)

■ 新任医師紹介

■ 医療技術局、看護局  
ニューフェイス紹介

■ がん相談支援センターの  
ひろば③

■ 先生教えて！  
子宮頸がん予防について  
～HPV ワクチン～

■ 第6回川柳フェスティバル  
入選結果

■ Winter Mini Live

当院の職員紹介⑩

青森市民病院 事務局長

奈良 英文





# 当院の職員紹介 シリーズ⑩

今回の当院の職員紹介シリーズ⑩は青森市民病院の事務局長、奈良英文さんです。奈良事務局長には、お忙しい中取材の時間をつくって頂きました。



「和を以て貴しとなす」

青森市民病院  
事務局長

奈良 英文

● 出身はどちらですか？

青森市で生まれ、青森北高校卒業後、就職のため一度青森を離れましたが、離れてみて改めて青森の良さが分かり、一年で帰ってきました。その後は、ずっと市内で暮らしています。

● 青森の魅力とは？

元々アウトドアが好きで、すぐ近くに山や海があって気軽に自然に触れ合えることができるというのがやはり青森の良いところだと思います。また、青森は海や山の幸が豊富です。もちろんねぶた祭も大好きで、観光課で仕事をしていた時は、そういう部分をPRしてきました。後は雪ですね。スノーボードが好きで、昔は毎週のように滑って、帰りは温泉に行ったりして、とても楽しかった思い出があります。

● 市役所に入ろうとされたきっかけは？

父が市役所に勤務していて職場のイベントなどにも連れていってもらっていたので、子どもの頃は漠然と自分も将来市役所で働きたいと考えていた記憶があります。

大人になって改めて市役所で仕事したいと思った理由の一つは、様々な領域の仕事に関わることができ、地域の発展や活性化に携わることができる、定期的な異動によって、色々な仕事に挑戦で

きるチャンスがあると思つたことです。

昭和62年4月に採用となり、36年が経過し、これまで福祉や税、下水道、観光、スポーツ、経済など10を越える部署で仕事をしてきました。

その中でも特に思い出深い事は、東北新幹線新青森駅開業に合わせた「ねぶたの家ワ・ラッセ」の開館に携わることができたことです。

新幹線開業は青森市にとって非常に大きなインパクトでしたので、ワ・ラッセに関わつた数年間は、身体的にも精神的にも結構ハードでしたが、その分オープンした時の達成感はそのまでの仕事では感じたことのないものでした。

オープンから2か月後に東日本大震災が発生し、厳しいスタートになりましたが、今も海外からの観光客をはじめ多くの方が訪れているという話を聞くと、うれしく思います。

今年4月の異動で市民病院に参りました。これまで経験したことのない職場でしたが、正直まさかという思いもありましたが、新たなジャンルに挑戦する機会をいただいたと思つて、色々勉強しながら皆さんと一緒に頑張っていきたいと考えています。

### ●尊敬する人は？

とても身近な存在ではありませんが、母親を尊敬しています。

中学三年の時に父親が病気で急逝し、学生時代は母と二人暮らしでしたが、母は仕事をしながら家事をこなし、忙しく疲れているはずなのに休日には一緒に釣りへ行ったり、車で色々な所に連れていってくれるなど、父のような役割もしてくれました。

明るく、世話好きな性格で80歳を超えた今でも元気に近くの小学校の通学路の除雪や落ち葉拾いなど自宅からだいぶ離れたところまで範囲を広げ、世のため、人のためだと言つては楽しそうに動きまわっています。

何事にも前向きで、何かあつた時でも「考えてもなるようにしかならないよ」という考えで、今は私も見習つてなるべくそう思うようにしています。

仕事に追われたりすると、日々の楽しさを見出すことが難しくなりますが、母を手本に常に楽しみを持てる人でありたいと思つています。

### ●趣味やいま興味を持っていることは？

趣味は、ジムカーナというモータースポーツを二十歳から続けています。一般の方がイメージするレースのように複数の車で一斉に走るのではなく、パイロンを使って作られた一々ニキロのコースを一台ずつ順番に走つて競うタイムトライアルで、イメージ的にはスキートの回転競技みたいな感じです。

コースは当日に発表されるので、そこから一時間くらいコースを歩きながら攻略法を考え、二回走行して順位が決まりますが、一分程度のコースなのでちょっとしたミスで順位が大きく変わります。

大会は日本自動車連盟（JAF）の公認で開催され、県シリーズ、東北シリーズ、全国シリーズのようにランク分けされており、若い時は年間で二十戦近くエントリーしていた時期もあり、おかげで色々な地域に友人ができ、今でも交流があります。最近は県内の大会に年々二回のお楽しみという程度で家族も連れて気楽な気持ちで参加しています。



競技の最中は目一杯アクセルを踏んでいますが、普段は法定速度で安全運転を心がけており免許は常にゴールド免許です（笑）。



最近興味を持っていることは、浪岡にある妻の実家がりんご栽培をしているのですが、義父も高齢となり後継者もいないので手伝いにいたりしています。

これまでは秋の収穫時期の手伝いがメインでしたが、最近は段々と手伝う範囲が広がってきて、それに伴いこれまで知らなかった苦労も少しづつですが分かるようになってきました。

今年は桜の開花と同じように、りんごの開花も例年より十日程度早くGW期間中は適正な実を付けさせるために、中心花という最初に咲いた花の周りの花を間引く花摘み作業を手伝ってきました。早咲きした分だけ霜害の心配など色んな影響がある事も改めて知りました。実家では、りんご以外にも、さくらんぼやシャインマスカットなども栽培していて、聞くことすべてが勉強になります。私もまだまだ修行中ですが、もし体験したい方がいらっしゃればぜひお声がけいただければと思います。

#### ●青森市民病院に期待することは？

どこの組織でも同じだと思いますが、仕事を円滑に進めていく上ではチームワークが一番大切だと思います。

特に病院では様々な職種の方が働いていますので、それぞれが自分の立場、役割をきちんと考えて行動するとともに、他の方の仕事を信頼、尊重し、皆で同じ目標に向かって協力していくことで、病院の理念である安全で良質な

医療の提供や信頼される病院ということにつながっていくものと思います。

私自身初めての病院勤務ということで、仕事の流れや医療用語などわからないところがまだまだたくさんあって力不足を感じていますが、青森市民病院がより良い病院となるように皆さんと同じ目標に向かって努力していきたいと考えています。



#### ●好きな（大切にしている）言葉は？

父が亡くなった直後に母の夢に父が出て

きて「和」を大事にという話を聞かされたことも影響しているのかもしれませんが、聖徳太子が制定した十七条憲法の第一条に出でくる「和を以て貴しとなす」という言葉を大切にしています。

故事ことわざ辞典によれば「何事をやるにも、みんなが仲良くやり、いさかいを起こさないのが良いということ」とされています。

この言葉には二つの意味があるとされ、一つ目は「和を大切にしない」ということで、お互いを尊重し、認め合って協力することの大切さを表しています。

怒らず争わず協力や協調することが尊いことだ、という意味だそうです。

もう一つは「話し合いを大切にしない」という意味です。

争いを避けて和を大切にするだけではなく、お互い妥協せずに納得するまで話し合うことの大切さを表しているといえます。

自身の気持ちや感情を抑えてひたすら我慢したり、相手の気持ちや意見を無視したりすることは「和」ではありません。「和」は妥協や同調ではなく、理解しあって調和・協調するという考え方のことです。

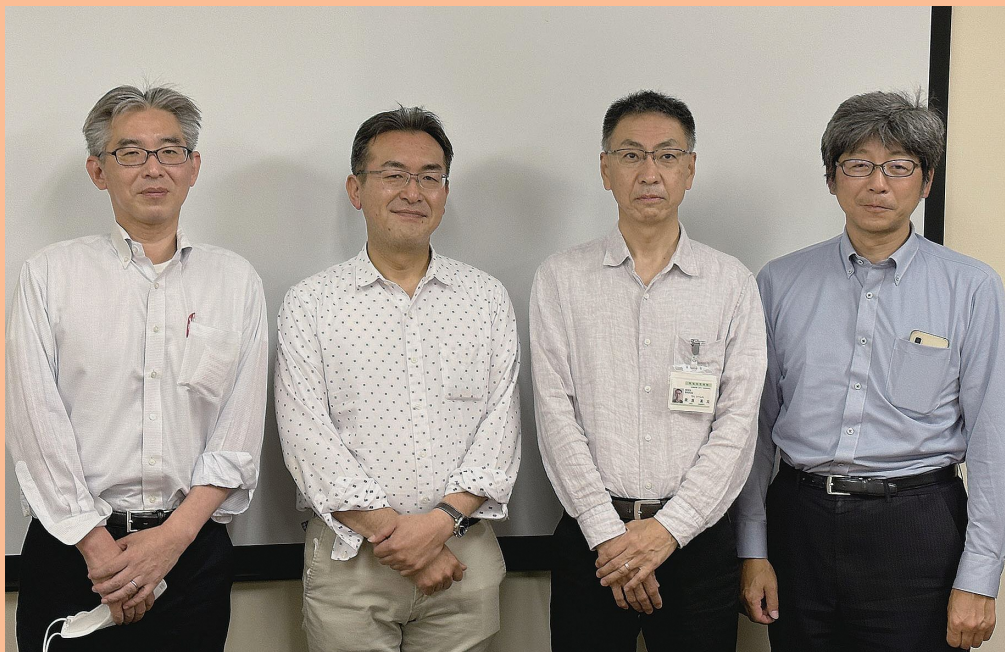
どの職場でも仕事を進めていく上で色々な意見があるかと思いますが、しっかりと

話し合いを行うことが大事で、争いを避けるだけが和を大切にすることではなく、安易に妥協をせずにお互いに納得できるまでしっかりと話しあっていることを大切にしていきたいと考えています。

### ●ほほえみの読者に一言

事務局は来院される方にとって目に触れる機会が少ない部署ですが、病院がスムーズに運営できるように、院内各局との調整をはじめ、医療従事者の皆さんを陰で支える重要な役割を担っていると考えています。

今後も医療従事者の皆さんと協力し、これまで以上に地域の皆さんに信頼される病院となるよう、事務局としても頑張っていますので、よろしくお願いいたします。



左から 総務課長：阿部 崇  
事務局長：奈良 英文

事務局次長：遠嶋 祥剛  
事務局次長：今 国弘